

得点	
----	--

氏名 _____

問 題 (20点)

次の資料にもとづいて、答案用紙に示してある商品売買関係の勘定と損益勘定について () に必要な記入を行いなさい。なお、会計期間は4月1日から3月31日までの1年間で、売上原価は仕入勘定で計算すること。

- 〔資料〕
- 期首商品棚卸高 ￥120,000
 - 当期商品仕入高 ￥490,000
 - 当期商品売上高 ￥795,000
 - 期末商品棚卸高 ￥170,000

繰 越 商 品

1/ 1 前 期 繰 越 ()	3/31 () ()
3/31 () ()	" () ()
1/ 1 前 期 繰 越 ()	

売 上

3/31 () ()	当期売上高 ()
--------------	-----------

仕 入

当期仕入高 ()	3/31 () ()
3/31 () ()	" 損 益 ()

損 益

3/31 () ()	3/31 () ()
" 諸 経 費 155,000	
" () ()	

問 題 (20点)
次の資料にもとづいて、答案用紙に示してある商品売買関係の勘定と損益勘定について () に必要な記入を行いなさい。なお、会計期間は 4 月 1 日から 3 月 31 日までの 1 年間で、売上原価は仕入勘定で計算すること。

〔資料〕 期首商品棚卸高 ￥120,000
当期商品仕入高 ￥490,000
当期商品売上高 ￥795,000
期末商品棚卸高 ￥170,000

繰 越 商 品

1/ 1 前 期 繰 越 (120,000)	3/31 (仕 入) (120,000)
3/31 (仕 入) (170,000)	" (次 期 繰 越) (170,000)
290,000	290,000

1/ 1 前 期 繰 越 (170,000)

売 上

3/31 (損 益) (795,000)	当期売上高 (795,000)
------------------------	-------------------

仕 入

当期仕入高 (490,000)	3/31 (繰 越 商 品) (170,000)
3/31 (繰 越 商 品) (120,000)	" 損 益 (440,000)
610,000	610,000

損 益

3/31 (仕 入) (440,000)	3/31 (売 上) (795,000)
" 諸 経 費 155,000	
" (繰越利益剰余金) (200,000)	
795,000	795,000

- ①売上原価の算定 (仕 入) 120,000 (繰越商品) 120,000
(繰越商品) 170,000 (仕 入) 170,000
- ②収益を損益に振替 (売 上) 795,000 (損 益) 795,000
- ③費用を損益に振替 (損 益) 440,000 (仕 入) 440,000
(諸 経 費) 155,000
- ④当期純利益を計上 (損 益) 200,000 (繰越利益剰余金) 200,000

氏名 _____

得点	
----	--

問 題 (20点)
次の決算整理後の各勘定に基づいて決算振替仕訳・勘定記入を行い、費用の勘定、収益の勘定及び損益勘定を締め切りなさい。なお、決算日は、12月31日であり、損益勘定については、日付、金額に加え、相手勘定も記入すること。

現 金	
1,000,000	180,000
170,000	4,000
	10,000
当 座 預 金	
500,000	110,000
受 取 手 形	
500,000	
備 品	
110,000	
仕 入	
200,000	
270,000	
給 料	
180,000	

支 払 手 形	
	200,000
買 掛 金	
200,000	200,000
	260,000
借 入 金	
	500,000
資 本 金	
	1,000,000
繰越利益剰余金	
売 上	
	170,000
	500,000
交 通 費	
4,000	

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
費用の振替仕訳				
収益の振替仕訳				
利益分の振替仕訳				

損 益

12/31 () ()	12/31 () ()
" () ()	
" () ()	
" () ()	
()	()

問 題 (20点)

次の決算整理後の各勘定に基づいて決算振替仕訳・勘定記入を行い、費用の勘定、収益の勘定及び損益勘定を締め切りなさい。なお、決算日は、12月31日であり、損益勘定については、日付、金額に加え、相手勘定も記入すること。

現 金	
1,000,000	180,000
-----	-----
170,000	4,000
-----	-----
	10,000
当 座 預 金	
500,000	110,000
-----	-----
受 取 手 形	
500,000	
-----	-----
備 品	
110,000	
-----	-----

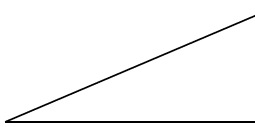
仕 入	
200,000	12/31損益 470,000
-----	-----
270,000	
-----	-----
470,000	470,000
-----	-----
給 料	
180,000	12/31損益 180,000
-----	-----

支 払 手 形	
	200,000
-----	-----
買 掛 金	
200,000	200,000
-----	-----
	260,000
借 入 金	
	500,000
-----	-----
資 本 金	
	1,000,000
-----	-----
繰越利益剰余金	
	12/31損益 16,000
-----	-----
売 上	
12/31損益 670,000	170,000
-----	-----
	500,000
-----	-----
670,000	670,000
-----	-----
交 通 費	
4,000	12/31損益 4,000
-----	-----

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
費用の振替仕訳	損 益	654,000	仕 入 給 料 交 通 費	470,000 180,000 4,000
収益の振替仕訳	売 上	670,000	損 益	670,000
利益分の振替仕訳	損 益	16,000	繰越利益剰余金	16,000

損 益

12/31	(仕 入) (470,000)
"	(給 料) (180,000)
"	(交 通 費) (4,000)
"	(繰越利益剰余金) (16,000)
	(670,000)

12/31	(売 上) (670,000)
	
	(670,000)

氏名 _____

(問 題)

得点	
	/20

問 題 次の資料によって、期末資本(純資産)、期末売掛金、売上原価および収益総額の金額を求めなさい。(12点)

(1) 資産・負債	(期首)	(期末)
現金預金	¥ 516,000	¥ 803,000
売掛金	1,278,000	?
商品	401,000	490,000
買掛金	1,094,000	1,154,000
(2) 純売上高		¥ 4,821,000
(3) 純仕入高		¥ 3,876,000
(4) 期間中の売上原価以外の費用総額		¥ 916,000
(5) 期間中の剰余金の配当		¥ 500,000
(6) 期間中の増資		¥ 120,000
(7) 当期純利益		¥ 594,000

期末資本(純資産)	期 末 売 掛 金	売 上 原 価	収 益 総 額
¥	¥	¥	¥

(各5点×4)

問 題 次の資料によって、期末資本(純資産)、期末売掛金、売上原価および収益総額の金額を求めなさい。(12点)

(1) 資産・負債		(期首)	(期末)
現金預金	¥	516,000	¥ 803,000
売掛金		1,278,000	?
商品		401,000	490,000
買掛金		1,094,000	1,154,000
(2) 純売上高			¥ 4,821,000
(3) 純仕入高			¥ 3,876,000
(4) 期間中の売上原価以外の費用総額	¥	916,000	
(5) 期間中の剰余金の配当	¥	500,000	
(6) 期間中の増資	¥	120,000	
(7) 当期純利益	¥	594,000	

期末資本(純資産)	期 末 売 掛 金	売 上 原 価	収 益 総 額
¥ 1,315,000	¥ 1,176,000	¥ 3,787,000	¥ 5,297,000

(各5点×4)

- ・ 期末資産＝期末負債＋期末純資産
- ・ 期末純資産＝期首純資産－剰余金の配当総額＋増資額＋当期純利益
- ・ 当期純利益＝収益総額－費用総額
- ・ 売上総利益＝純売上高－売上原価
- ・ 売上原価＝期首商品棚卸高＋純仕入高－期末商品棚卸高

期首B／S

現金預金 516,000	買掛金 1,094,000
売掛金 1,278,000	
商品 401,000	期首 純資産

期首商品棚卸高 401,000
純仕入高 3,876,000
期末商品棚卸高 490,000
売上原価 3,787,000

当期P／L

売上原価 3,787,000	収益総額 ?
その他費用 916,000	
当期純利益 594,000	

1,101,000
－) 剰余金配当 500,000
＋) 増 資 120,000
＋) 当期純利益 594,000
期末純資産 1,315,000

期末B／S

現金預金 803,000	買掛金 1,154,000
売掛金 ?	
商品 490,000	期末 純資産 1,315,000

氏名 _____

(問 題)

得点	／20
----	-----

第1問 (20点)

次の資料によって、期末買掛金、期末純資産(資本)、売上総利益および当期純利益の金額を求めなさい。

1. 資産・負債	(期首)	(期末)	2. 期間中の商品売買取引
現金・預金	¥ 193,000	¥ 289,000	(1) 当期総仕入額 ¥ 3,156,000
売掛金	754,000	889,000	(2) 当期仕入返品高 ¥ 33,000
商品	1,130,000	1,320,000	(3) 当期総売上高 ¥ 4,173,000
買掛金	668,000	X	(4) 当期売上返品高 ¥ 48,000
3. 純売上高を除く期間中の収益総額	¥ 199,000		
4. 売上原価を除く期間中の費用総額	¥ 853,000		
5. 期間中の剰余金の配当総額	¥ 280,000		
6. 期間中の増資額	¥ 130,000		

期末買掛金	期末純資産(資本)	売上総利益	当期純利益
¥	¥	¥	¥

第2問 (20点)

次の資料によって、期末資本(純資産)、期末売掛金、売上原価および収益総額の金額を求めなさい。

1. 資産・負債	(期首)	(期末)	2. 期間中の商品売買取引
現金・預金	¥ 378,000	¥ 411,000	(1) 当期総仕入額 ¥ 3,130,000
売掛金	896,000	?	(2) 当期仕入返品高 ¥ 112,000
商品	945,000	982,000	(3) 当期総売上高 ¥ 4,426,000
買掛金	788,000	775,000	(4) 当期売上返品高 ¥ 86,000
3. 純売上高を除く期間中の収益総額	¥ 196,000		
4. 売上原価を除く期間中の費用総額	¥ 1,208,000		
5. 期間中の剰余金の配当総額	¥ 380,000		
6. 期間中の増資額	¥ 130,000		

期末売掛金	期末純資産(資本)	売上総利益	当期純利益
¥	¥	¥	¥

第1問 (20点)

次の資料によって、期末買掛金、期末純資産(資本)、売上総利益および当期純利益の金額を求めなさい。

1. 資産・負債	(期首)	(期末)	2. 期間中の商品売買取引
現金・預金	¥ 193,000	¥ 289,000	(1) 当期総仕入額 ¥ 3,156,000
売掛金	754,000	889,000	(2) 当期仕入返品高 ¥ 33,000
商品	1,130,000	1,320,000	(3) 当期総売上高 ¥ 4,173,000
買掛金	668,000	X	(4) 当期売上返品高 ¥ 48,000
3. 純売上高を除く期間中の収益総額	¥ 199,000		
4. 売上原価を除く期間中の費用総額	¥ 853,000		
5. 期間中の剰余金の配当総額	¥ 280,000		
6. 期間中の増資額	¥ 130,000		

期末買掛金	期末純資産(資本)	売上総利益	当期純利益
¥ 701,000	¥ 1,797,000	¥ 1,192,000	¥ 538,000

- ・ 期末資産＝期末負債＋期末純資産
- ・ 期末純資産＝期首純資産－剰余金の配当総額＋増資額＋当期純利益
- ・ 当期純利益＝収益総額－費用総額
- ・ 売上総利益＝純売上高－売上原価
- ・ 売上原価＝期首商品棚卸高＋純仕入高－期末商品棚卸高

期首B／S

現金預金 193,000	買掛金 668,000
売掛金 754,000	
商品 1,130,000	期首純資産

	1,409,000
－) 剰余金配当	280,000
＋) 増資	130,000
＋) 当期純利益	538,000
期末純資産	1,797,000

期末B／S

現金預金 289,000	買掛金 X
売掛金 889,000	
商品 1,320,000	純資産 1,797,000

期首商品棚卸高	1,130,000
純仕入高	3,123,000=3,156,000-33,000
期末商品棚卸高	1,320,000
売上原価	2,933,000
当期P／L	
純売上高	4,125,000=4,173,000-48,000
売上原価	2,933,000
売上総利益	1,192,000
＋) その他収益	199,000
－) その他費用	853,000
当期純利益	538,000

第2問 (20点)

次の資料によって、期末資本(純資産)、期末売掛金、売上原価および収益総額の金額を求めなさい。

1. 資産・負債

(期首) (期末)

現金・預金 ¥ 378,000 ¥ 411,000

売掛金 896,000 ?

商品 945,000 982,000

買掛金 788,000 775,000
2. 期間中の商品売買取引

(1) 当期総仕入額 ¥ 3,130,000

(2) 当期仕入返品高 ¥ 112,000

(3) 当期総売上高 ¥ 4,426,000

(4) 当期売上返品高 ¥ 86,000
3. 純売上高を除く期間中の収益総額 ¥ 196,000

4. 売上原価を除く期間中の費用総額 ¥ 1,208,000

5. 期間中の剰余金の配当総額 ¥ 380,000

6. 期間中の増資額 ¥ 130,000

期末売掛金	期末純資産(資本)	売上総利益	当期純利益
¥ 910,000	¥ 1,528,000	¥ 1,359,000	¥ 347,000

- ・ 期末資産＝期末負債＋期末純資産
- ・ 期末純資産＝期首純資産－剰余金の配当総額＋増資額＋当期純利益
- ・ 当期純利益＝収益総額－費用総額
- ・ 売上総利益＝純売上高－売上原価
- ・ 売上原価＝期首商品棚卸高＋純仕入高－期末商品棚卸高

期首B／S

現金預金 378,000	買掛金 788,000
売掛金 896,000	
商品 945,000	期首純資産
	1,431,000
	－) 剰余金配当 380,000
	＋) 増資 130,000
	＋) 当期純利益 347,000
	期末純資産 1,528,000

期末B／S

現金預金 411,000	買掛金 775,000
売掛金 ?	
商品 982,000	純資産 1,528,000

期首商品棚卸高	945,000
純仕入高	3,018,000=3,130,000-112,000
期末商品棚卸高	982,000
売上原価	2,981,000
当期P／L	
純売上高	4,340,000=4,426,000-86,000
売上原価	2,981,000
売上総利益	1,359,000
＋) その他収益	196,000
－) その他費用	1,208,000
当期純利益	347,000

問題 (20点)

次の「資料」にもとづいて、答案用紙に示した（ ）に適切な金額を記入して、株式会社姫路商事の平成25年度（自平成25年度4月1日 至平成26年3月31日）の株主資本等変動計算書（単位：千円）を完成しなさい。なお、減少については、金額の前に△にて示すこと。

「資料」

1. 前期の決算時に作成した貸借対照表によると、純資産の部に記載された項目の金額は次のとおりであった。なお、この時点における当社の発行済株式総数は20,000株である。
- | | | | | | |
|-------|----------|-------|---------|----------|---------|
| 資本金 | 40,000千円 | 資本準備金 | 5,000千円 | その他資本剰余金 | 0円 |
| 利益準備金 | 2,000千円 | 別途積立金 | 300千円 | 繰越利益剰余金 | 6,000千円 |
2. 平成25年6月26日に開催された株主総会において、剰余金の配当等が次のとおり承認された。
- (1) 株主への配当金を、利益剰余金を財源とし1株につき¥100にて実施する。
- (2) 会社法で規定する額の利益準備金を計上する。
- (3) 新たに新築積立金を400千円設定する。
3. 平成25年8月3日に開催された取締役会の決議により、資本準備金3,000千円および利益準備金1,000千円を資本金とすることとなり、実行した。
4. 平成25年10月1日に増資を行い、5,000株を1株につき@¥3,000で発行した。払込金は全額当座預金に預け入れた。資本金は、会社法で規定する最低額を計上することとした。
5. 平成26年1月17日に株式会社福岡物産を吸収合併した。福岡物産の所資産（時価）は100,000千円、諸負債は74,400千円であった。合併の対価として福岡物産の株主に当社の株式8,000株（時価@¥3,200）を交付したが、資本金増加額は10,000千円、資本準備金増加額は12,000千円、およびその他資本剰余金増加額は3,600千円とした。
6. 平成26年3月31日、決算を行った結果、当期純利益は900千円であることが判明した。

氏名 _____

(解答用紙)

得点	／20
----	-----

株主資本等変動計算書
自平成25年4月1日 至平成26年3月31日 (単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資 本 準 備 金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当 期 首 残 高	40,000	5,000	0	5,000
当 期 変 動 額				
剰余金の配当等				
準備金による増資	()	()		()
新 株 の 発 行	()	()		()
吸 収 合 併	()	()	()	()
当 期 純 利 益				
当期変動額合計	()	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()	()

上段より続く

下段へ続く

	株 主 資 本					
	利 益 剰 余 金					株 主 資 本 合 計
	利益準備金	そ の 他 利 益 剰 余 金			利益剰余金 合 計	
		新築積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当 期 首 残 高	2,000	0	300	6,000	()	()
当 期 変 動 額						
剰余金の配当等	()	()		()	()	()
準備金による増資	()				()	
新 株 の 発 行						()
吸 収 合 併						25,600
当 期 純 利 益				()	()	()
当期変動額合計	()	()	0	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	300	()	()	()

株主資本等変動計算書
自平成25年4月1日 至平成26年3月31日 (単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資 本 準 備 金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当 期 首 残 高	40,000	5,000	0	5,000
当 期 変 動 額				
剰余金の配当等				
準備金による増資	(4,000)	(△ 3,000)		(△ 3,000)
新 株 の 発 行	(7,500)	(7,500)		(7,500)
吸 収 合 併	(10,000)	(12,000)	(3,600)	(15,600)
当 期 純 利 益				
当期変動額合計	(21,500)	(16,500)	(3,600)	(20,100)
当 期 末 残 高	(61,500)	(21,500)	(3,600)	(25,100)

上段より続く

下段へ続く

	株 主 資 本					
	利 益 剰 余 金					株 主 資 本 合 計
	利益準備金	そ の 他 利 益 剰 余 金			利益剰余金 合 計	
新築積立金		別途積立金	繰越利益剰余金			
当 期 首 残 高	2,000	0	300	6,000	(8,300)	(53,300)
当 期 変 動 額						
剰余金の配当等	(200)	(400)		(△ 2,600)	(△2,000)	(△ 2,000)
準備金による増資	(△1,000)				(△1,000)	
新 株 の 発 行						(15,000)
吸 収 合 併						25,600
当 期 純 利 益				(900)	(900)	(900)
当期変動額合計	(△ 800)	(400)	0	(△1,700)	(△2,100)	(39,500)
当 期 末 残 高	(1,200)	(400)	300	(4,300)	(6,200)	(92,800)

2. 平成25年 6 月26日：剰余金の配当				
(繰越利益剰余金)	2,600	(未 払 配 当 金)	2,000	$20,000株 \times @100円 = 2,000千円$
		(利 益 準 備 金)	200	$2,000 \times 1/10 = 200 < 3,000$
		(新 築 準 備 金)	400	$= 40,000 \times 1/4 - (5,000 + 2,000)$
3. 平成25年 8 月 3 日：準備金による増資				
(資 本 準 備 金)	3,000	(資 本 金)	4,000	
(利 益 準 備 金)	1,000			
4. 平成25年10月 1 日：新株の発行				
(当 座 預 金)	15,000	(資 本 金)	7,500	$5,000株 \times @3,000円 = 15,000千円$
		(資 本 準 備 金)	7,500	$15,000 \times 1/2 = 7,500$
5. 平成26年 1 月17日：吸収合併				
(諸 資 産)	100,000	(諸 負 債)	74,400	
		(資 本 金)	10,000	
		(資 本 準 備 金)	12,000	
		(その他の資本剰余金)	3,600	
6. 平成26年 3 月31日：当期純利益				
(損 益)	900	(繰越利益剰余金)	900	

問題 (20点)

次に示した東京商事株式会社の〔資料〕にもとづき、答案用紙の株主資本等変動計算書について、() に適切な金額を記入してを完成しなさい。金額が負の値のときは、() の前に△を付しいる。なお、会計期間は平成26年度4月1日から平成27年3月31日までの1年間である。

〔資料〕

- 平成26年5月1日、新株を発行して増資を行い、払込金¥800,000は当座預金とした。増資に伴う資本金の計上額は、払込金の60%の金額とした。
- 平成26年6月27日、定時株主総会を開催し、剰余金の配当および処分を次のように決定した。
 - 株主への配当¥500,000…このうち¥100,000はその他資本剰余金を財源とし、¥400,000は繰越利益剰余金を財源とする。
 - 株主への配当に伴う準備金の積立て…その他資本剰余金を財源とする配当については、その10分の1に相当する金額をその他資本剰余金から資本準備金として積み立て、繰越利益剰余金を財源とする配当については、その10分の1に相当する金額を繰越利益剰余金から利益準備金として積み立てる。
 - 別途積立金の積立て…繰越利益剰余金を処分し、別途積立金として¥80,000を積み立てる。
- 平成27年1月15日、大阪物産株式会社を吸収合併し、合併の対価として新株3,000株(1株当たりの時価は¥600)を発行し、大阪物産の株主に交付した。新株の発行に伴う純資産(株主資本)の増加額のうち、¥900,000は資本金、¥500,000は資本準備金とし、残額はその他資本剰余金として計上する。
- 平成27年2月1日、臨時総会を開催し、剰余金の処分を次のように決定した。

剰余金の資本組入…その他資本剰余金¥50,000を減少して資本金へ組み入れる。
- 平成27年3月31日、決算を行い、当期純利益¥750,000を計上した。

氏名 _____

(解答用紙)

得点	／20
----	-----

株主資本等変動計算書
自平成26年4月1日 至平成27年3月31日 (単位：千円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金
当 期 首 残 高	10,000,000	540,000	150,000
当 期 変 動 額			
新 株 の 発 行	()	()	
剰余金の配当		()	△()
別途積立金の積立て			
吸 収 合 併	()	()	()
剰余金の資本組入	()		△()
当 期 純 利 益			
当期変動額合計	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()

上段より続く (下段へ続く)

	株 主 資 本			株 主 資 本 合 計
	利 益 剰 余 金		利益準備金	
	その他利益剰余金			
		別途積立金	繰越利益剰余金	
当 期 首 残 高	240, 000	120, 000	950, 000	12, 000, 000
当 期 変 動 額				
新 株 の 発 行				()
剰余金の 配 当	()		△()	△()
別途積立金の積立て		()	△()	－
吸 収 合 併				()
剰余金の資本組入				－
当 期 純 利 益			()	()
当期変動額合計	()	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()	()

株主資本等変動計算書
自平成26年4月1日 至平成27年3月31日 (単位：千円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金
当 期 首 残 高	10,000,000	540,000	150,000
当 期 変 動 額			
新 株 の 発 行	(480,000)	(320,000)	
剰余金の配当		(10,000)	△(110,000)
別途積立金の積立て			
吸 収 合 併	(900,000)	(500,000)	(400,000)
剰余金の資本組入	(50,000)		△(50,000)
当 期 純 利 益			
当期変動額合計	(1,430,000)	(830,000)	(240,000)
当 期 末 残 高	(11,430,000)	(1,370,000)	(340,000)

上段より続く (下段へ続く)

	株 主 資 本			株 主 資 本 合 計
	利 益 剰 余 金		その他利益剰余金	
	利益準備金	別途積立金		
当 期 首 残 高	240,000	120,000	950,000	12,000,000
当 期 変 動 額				
新 株 の 発 行				(800,000)
剰余金の 配 当	(40,000)		△(440,000)	△(500,000)
別途積立金の積立て		(80,000)	△(80,000)	－
吸 収 合 併				(1,800,000)
剰余金の資本組入				－
当 期 純 利 益			(750,000)	(750,000)
当期変動額合計	(40,000)	(80,000)	(230,000)	(2,850,000)
当 期 末 残 高	(280,000)	(200,000)	(1,180,000)	(14,850,000)

1. 平成26年 5 月 1 日 新株の発行				
(当 座 預 金)	800,000	(資 本 金)	480,000	$800,000 \times 60\% = 480,000$
		(資 本 準 備 金)	320,000	$800,000 - 480,000 = 320,000$
2. 平成26年 6 月 27 日 剰余金の配当および処分				
(1) 株主への配当 (2) 株主への配当に伴う準備金の積立て				
(その他資本剰余金)	110,000	(未 払 配 当 金)	500,000	
(繰越利益剰余金)	440,000	(資 本 準 備 金)	10,000	$100,000 \times 1/10 = 10,000$
		(利 益 準 備 金)	40,000	$400,000 \times 1/10 = 40,000$
(3) 別途積立金の積立て				
(繰越利益剰余金)	80,000	(別 途 積 立 金)	80,000	
3. 平成27年 1 月 15 日 吸収合併				
(諸 資 産)	XXX	(諸 負 債)	XXX	$@ ¥600 \times 3,000 = 1,800,000$
		(資 本 金)	900,000	
		(資 本 準 備 金)	500,000	
		(その他資本剰余金)	400,000	$1,800,000 - (900,000 + 500,000) = 400,000$
4. 平成27年 2 月 1 日 剰余金の資本組入				
(その他資本剰余金)	50,000	(資 本 金)	50,000	
5. 平成27年 3 月 31 日 当期純利益				
(損 益)	750,000	(繰越利益剰余金)	750,000	

問題 (20点)

次に示した東京商事株式会社の〔資料〕にもとづいて、答案用紙の株主資本等変動計算書について（ ）に適切な金額を記入してを完成しなさい。金額が負の値のときは、金額の前に△を付して示すこと。なお、会計期間は平成27年度4月1日から平成28年3月31日までの1年間である。

〔資料〕

1. 平成27年6月26日、定時株主総会を開催し、剰余金の配当および処分を次のように決定した。
 - (1) 株主への配当金について、その他資本剰余金を財源として¥500,000、繰越利益剰余金を財源として¥1,500,000、合計¥2,000,000の配当を行う。
 - (2) 上記の配当に関連して、会社法が定める金額を準備金（資本準備金および利益準備金）として積み立てる。
 - (3) 繰越利益剰余金を処分し、別途積立金¥120,000を積み立てる。
2. 平成27年9月1日、新株を発行して増資を行い、払込金¥1,400,000は当座預金とした。なお、会社法が定める最低限度額を資本金とした。
3. 平成28年3月31日、決算にあたり、次の処理を行った。
 - (1) その他の有価証券（前期末の時価は¥1,350,000、当期末の時価は¥1,530,000）について時価評価を行い、評価差額を全部純資産直入法により純資産として計上した。なお、その他有価証券はすべて株式であり、当期にその他有価証券の売買取引は行われていない。
 - (2) 当期純利益¥930,000を計上した。

氏名 _____

(解答用紙)

得点	／20
----	-----

株主資本等変動計算書
自平成27年4月1日至平成28年3月31日 (単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	20,000	1,500	800	2,300
当期変動額				
剰余金の配当等		()	()	()
別途積立金の積立て				
新株の発行	()	()		()
当期純利益				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	()	()	()	()
当期末残高	()	()	()	()

(上段より続く) (下段へ続く)

	株 主 資 本				評価・換算差額等		純資産 合 計	
	利 益 剰 余 金			株主資本 合 計	そ の 他 有価証券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 計		
	利益 準備金	その他利益剰余金						利 益 剰余金 合 計
		別 途 積立金	繰越利益 剰 余 金					
当 期 首 残 高	500	100	2,600	3,200	25,500	80	80	25,580
当 期 変 動 額								
剰余金の配当等	()		()	()	()			()
別途積立金の積立て		()	()	—	—			—
新 株 の 発 行					()			()
当 期 純 利 益			()	()	()			()
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						()	()	()
当期変動額合計	()	()	()	()	()	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()	()	()	()	()	()

株主資本等変動計算書
自平成27年4月1日 至平成28年3月31日 (単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資 本 準 備 金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当 期 首 残 高	20,000	1,500	800	2,300
当 期 変 動 額				
剰余金の配当等		(50)	(△550)	(△500)
別途積立金の積立て				
新 株 の 発 行	(700)	(700)		(700)
当 期 純 利 益				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	(700)	(750)	(△550)	(200)
当 期 末 残 高	(20,700)	(2,250)	(250)	(2,500)

(上段より続く) (下段へ続く)

	株 主 資 本				評価・換算差額等		純資産 合 計	
	利 益 剰 余 金			株主資本 合 計	そ の 他 有価証券 評 価 差 額 金	評 価・ 換 算 差 額 等 計		
	利益 準備金	その他利益剰余金						利 益 剰余金 合 計
		別 途 積立金	繰越利益 剰 余 金					
当 期 首 残 高	500	100	2,600	3,200	25,500	80	80	25,580
当 期 変 動 額								
剰余金の配当等	(150)		(△1,650)	(△1,500)	(△2,000)			(△2,000)
別途積立金の積立て		(120)	(△ 120)	—	—			—
新 株 の 発 行					(1,400)			(1,400)
当 期 純 利 益			(930)	(930)	(930)			(930)
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						(180)	(180)	(180)
当期変動額合計	(150)	(120)	(△ 840)	(△ 570)	(330)	(180)	(180)	(510)
当 期 末 残 高	(650)	(220)	(1,760)	(2,630)	(25,830)	(260)	(260)	(26,090)

1. 平成27年 6 月26日：				
(1) 剰余金の配当、(2) 準備金の積立て				
(その他資本剰余金)	550	(未 払 配 当 金)	500	$500 \times 1/10 = 50$
		(資 本 準 備 金)	50	$1,500 \times 1/10 = 150$
(繰越利益剰余金)	1,650	(未 払 配 当 金)	1,500	$20,000 \times 1/4 - (500 + 1,500) = 3,000$
		(利 益 準 備 金)	150	$50 + 150 < 3,000$
(3) 別途積立金の積立				
(繰越利益剰余金)	120	(別 途 積 立 金)	120	
2. 平成27年 9 月 1 日：増資				
(当 座 預 金)	1,400	(資 本 金)	700	
		(資 本 準 備 金)	700	
3. 平成28年 3 月31日：決算				
(1) その他有価証券の評価替え				
平成27年 4 月 1 日：再振替仕訳				洗替法なので、每期首には評価差額を振り戻して取得原価にしておく
(その他有価証券評価差額金)	80	(その他有価証券)	80	
平成28年 3 月31日：決算整理				$1,530 - (1,350 - 80) = 260$
(その他有価証券)	260	(その他有価証券評価差額金)	260	その他有価証券評価差額金の当期変動額(純額) = $260 - 80$
(2) 当期純利益の計上				
(損 益)	930	(繰越利益剰余金)	930	